



議会だより



ゴールに向かって!

9月20日 下関保育園運動会

- 9月定例会 2～3 ページ
- 一般質問 4～5 ページ
- 決算審査特別委員会報告、
議会の構成 6～7 ページ
- 村民の声 8 ページ

議会だよりは村のホームページでもご覧になれます。
URL <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行…新潟県関川村議会

〒959-3292

新潟県岩船郡関川村大字下関912番地

TEL 0254-64-1494 FAX 0254-64-3006

責任者…議長 高橋 八男

編集…広報対策特別委員会

委員長…平田ゆかり

副委員長…須貝 謙一

委員…伊藤 理助・津野 庄衛
大沼 久夫・近 良平

平成21年 第8回 関川村議会

9月 定例会

会期 9月8日から17日まで(10日間)

10月10日「緑の百年物語フェスティバル・
第50回岩船林業振興祭」エコ風船飛ばし

補正予算 一般会計 3170万円追加

一 般 会 計		
総務費	テレビ難視聴地域対策事業補助金 他	1163万2千円追加
民生費	子育て応援特別支給事業費 他	957万6千円追加
衛生費	成人病予防健診委託料、水道事業会計出資金 他	586万7千円減額
農業水産業費	林道整備事業測量調査委託料 他	289万5千円追加
商工労働費	観光振興広告印刷費 他	44万9千円追加
土木費	建物危険度ハザードマップ等作成委託料 他	961万円追加
教育費	学校管理委託料 他	340万5千円追加

特 別 会 計		
国民健康保険事業	保険給付費交付金 他	1670万円追加
老人保健	支出基金・国・県支出金、精算返還金 他	212万7千円追加
後期高齢者医療	前年度繰越金 他	105万6千円追加
公共下水道事業	下水道事業債 他	450万円減額

水 道 事 業 会 計		
工事設計委託料および工事費	資本的支出	1670万円追加

質 問



津野 庄衛 議員

人口減少の抑制策に配偶者対策を 村の魅力を高め行政全般で取り組む

議員 本村の人口はこの二十一年間で千六百五十四人減少した。昨年だけでも百九人減少している。今後は出生者が四十人位で推移すると八年後には六千人を割ると考えられる。

若者の定着、配偶者対策等の取り組みが必要と考えるが、今後の施策について伺う。

村長 若者の価値観や結婚観の変化等により、今までのような取り組みでは効果が期待できません。そこで、若者の村外流出を抑えるだけでなく、交流人口を増加させ、村への移住を増やすことなどが考えられるが、今のところ人口減少の抑制策の決め手はありません。

育料の軽減、医療費の一部負担の軽減等子育てしやすい環境づくり、働く場の確保、教育環境の整備等行政全般で取り組みたいと考えています。

あり、状況がつかみにくいのが現状です。交流の機会をつくることも重要ですし、仲人の推奨なども地域の皆さんと相談しながら、他の例とも比べて検討します。

議員 以前の一般質問で行政評価について伺ったが、いまだに公表されていない。細かい評価がなければ進展がないのでは。

人口減少の要因は若者の村外流出などが考えられ、これらを抑制するためにも第五次総合計画にあ

る若者の定着、配偶者対策等の取り組みが必要と考えるが、今後の施策について伺う。

議員 村内には結婚適齢期の独身者がかなりいると思うが、そういう人たちをまとめることから取り組んではどうか。

議員 村長の施政方針が毎年発表されるが、評価と各分野の目標達成度をどのようにして決めているのか。

村長 行政評価については専門的な知識が必要で、学者の皆さんや他町村の例を参考にしたいと思っています。

人口減少の要因は若者の村外流出などが考えられ、これらを抑制するためにも第五次総合計画にあ

る若者の定着、配偶者対策等の取り組みが必要と考えるが、今後の施策について伺う。

村長 地域懇談会では子育ても重要であるが、それ以前の対策が大事という意見がありました。独身者のニーズの変化やプライバシー等の問題も

状態か、また活性化を図るための条件とは何か。沿集落の区長問題に対しての対応について。

財政シミュレーションでは、二十三年度から副村長、収入役を空席とし、教育長を非常勤とすることを推計してい



山口和夫 議員

行政評価は行わないのか 今後は実施に向けて努力する

議員 平田村政の任期の終了に当たり、行政運営の検証と総括を行うのは当然だ

が、それらを踏まえて次のことを伺う。

表するとあるが、五年間の間に一度も公表したことがない。村長の考えと今後について。

状態か、また活性化を図るための条件とは何か。沿集落の区長問題に対しての対応について。

財政シミュレーションでは、二十三年度から副村長、収入役を空席とし、教育長を非常勤とすることを推計してい

括を行うのは当然だ

が、それらを踏まえて次のことを伺う。

表するとあるが、五年間の間に一度も公表したことがない。村長の考えと今後について。

状態か、また活性化を図るための条件とは何か。沿集落の区長問題に対しての対応について。

財政シミュレーションでは、二十三年度から副村長、収入役を空席とし、教育長を非常勤とすることを推計してい

般

↓るが、行政改革をするつもりはあるのか。

村長 閔川村に合った行政評価の方法、手本が余りないので、まずその方法づくりを挙げることから始めなければならぬ。今後は実施に向けて

努力したい。

活性化とは住民の満足感とか、充実感につながるものであると考える。それには心の豊かさや、いろいろな面での意識を盛り上げて、物質的に不足な部分を精神的なもので補っていくことだと思います。沼集落のことについては心を痛めており、苦慮している。

現在推薦されている代表の方が、集落すべての世帯に対して職務を履行されるのであれば認めます。

財政シュミレーションの推計での仮定条件として挙げたものであり、行政的に決定したものではありません。現時点で決断するには時期尚早であると考えている。ご理解をいただき

きたい。

議員 議員の定数を削減する考えもあるのかと思うが、これ以上議員の定数を減らすと委員会活動等に支障をきたすので、私案としては報酬制から日当制として定数を増やしたらどうか。

村長 議員の日当制や定数の問題については、メリット・

デメリットの情報が伝わってきている。また定数については、議会制民主主義の定数がどの辺までが限界であるか考えさせられている。これは、議員の皆様方が議論する問題であるのかと私は考えている。



渡辺 健作 議員

地域懇談会は今後も継続か 実施の方法を検討し、続けたい

議員 六月二十二日から七月三十日の間にコミュニケーション単位で地域懇談会が開催されました。その結果について村長に伺う。

村長 出席者数は総数で百五十三名、昨年より六名の増でした。各会場については、下関十

問やアイデアを提案してもらったと思います。

今後の継続の予定については、今後も続けたいと考えています。理由は、村民と行政との直接的な対話で多方面にわたる意見を皆さんから聞くことができる有意義なことであると思っております。

以上のような問題点も踏まえ、今までのようなやり方でなく、別の角度から懇談会の在り方を検討しなければならぬと思います。

各コミュニケーションの出席者数。

主な質問や意見。

懇談会の中で村長が感じられた出席者の関心度。

懇談会を今後も継続する予定か。

川北十四名、女川十八名、七ヶ谷二十五名、九ヶ谷十三名、男女別では、男性百四十名、女性十三名でした。

少子化対策の根拠である嫁娶対策を望む声が多く、次に閉校小学校の跡地利用の提案や要望

それと集落要望の実現などです。関心度については、熱心に質

一人の方の質問時間が長く他の方々の発言時間がなくなること。

理由は、参加者が少ないこと。例年と顔ぶれが変わらないこと。

性が大いにあると思います。継続するのであれば、どのような方法を検討していきますか。

議員 最近の懇談会は、参加者が極力少ないと感じます。有権者の二・七％の参加率で、村民全体の総意と受け取るのは危険

村長 別なテーマごとにするか。年齢層ごとにするか。あるいは

村民全体として一つの会場であるかなどを検討したいと考えています。

議員 懇談会の中で、答弁のために行政側から参加される人数が多いうちに思います。三役だけで十分ではないか。

村長 昨年末までは村長以下十人ぐらいでしたが、非常に窮屈であるという意見があり、今年は半分に減らしました。今後もさらに減らす方向で考えています。

委員会審査報告

「決算認定について」の議案は、設置した特別委員会に付託してきものと決定しました。これはその審査した内容の一部です。

一般会計

歳入

問 村税の滞納理由と件数
答 失業や借入金返済で、二百件弱です。

問 電源立地促進対策交付金事業施設維持運営基金を施設等の維持に充てられる期間は、
答 約二年です。

歳出

農林水産業費

問 玉郷立地区ほ場整備の工期はいつまでか。
答 二十二年三月までに工事を完了予定です。

問 農業者年金の今後の給付見通しは。
答 国の政策により担い手対策の一環として交付金を受けて給付されているため、

今後も給付されると考えます。
問 カワウは有害鳥獣駆除対象か。
答 対象です。

問 転作米を学校給食用に販売可能か。
答 転作には要件があるためできません。

問 農業連絡事務集落委託料の内容は。
答 農業に関する事務連絡の委託料として、一戸あたり千四百円を農家数分その集落へ支払っています。

問 土地改良区の加入状況は。
答 全面積の半分が加入しており、荒川右岸および女川右岸が未加入です。



刈り稲

議会の構成

平成二十一年七月三十一日に開かれた第七回臨時会において、正副議長が新しく就任いたしました。また、八月一日から各委員会の構成委員も代りましたので、現在の議会の構成をお知らせいたします。



議長 高橋 八男

このたび関川村議会議長に推薦をいただき就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、職責の重大さに身の引き締まる思いであります。浅学非才ではありますが、本村に山積みしている問題を村と議会と住民が一丸となって解決に向けて頑張り、自立できる地域づくりを目指します。今後とも議会運営に努力して参りたいと思っておりますので、住民各位のご理解とご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



副議長 渡辺 健作

このたびの改選に当たり、副議長を仰せつかりました。高橋議長を補佐し、スムーズな議会運営に努めることは勿論ですが、議会の活性化をいままです以上に推進してまいりたいと考えています。それにはまず村民の皆さんに議会活動の内容を理解していただくこと、個々の議員に対しても厳しくチェックしていただくことかと思えます。議会の傍聴も一つの方法です。皆さんからの叱咤激励をよろしくお願いいたします。

平成20年度 決算審査特別

9月定例会に上程された「平成20年度各会計および事業会計の2つの分科会において審査しました。結果、いずれも認定すべ

商工労働費

問 ゆゝむの入込客を増やす対策は。
答 増築やリニューアルを検討しています。

土木費

問 道路台帳管理委託の内容は。
答 道路網図の整備委託です。

消防費

問 災害時用備蓄品の保管場所は。
答 中学校武道館脇の防災倉庫などです。



中学校武道館脇の防災倉庫

特別会計

公共下水道事業

問 下水道整備工事は全地区完了したのか。
答 二十一年度の舗装工事は完了済みです。

問 維持管理費の修繕料の内容は。
答 マンホールポンプ等に混入した異物除去が主なものです。

基金の運用状況

問 奨学基金の貸付けと返納月額は。
答 貸付月額は三万円、返納月額は一万五千元で、貸付期間や返納方法は利用者により異なります。

総務厚生

常任委員会

委員長 津野庄衛
副委員長 大沼久夫
委員 平田ゆかり
高橋八男
山口好郎

産業建設

常任委員会

委員長 伊藤理助
副委員長 渡辺秀雄
委員 須貝謙一
渡辺健作
近良平
山口和夫

議会運営

委員会

委員長 大沼久夫
副委員長 須貝謙一
委員 渡辺健作
伊藤理助
津野庄衛

広報対策

特別委員会

委員長 平田ゆかり
副委員長 須貝謙一
委員 伊藤理助
津野庄衛
大沼久夫
近良平

地域交流及び企業誘致等

調査特別委員会

委員長 山口和夫
副委員長 須貝謙一
委員 渡辺秀雄
大沼久夫
近良平



村民の声

さくら工房とは？



よこ やま とみ お
横 山 富 男 さん
(勝 蔵)

関川村地域活動支援センター「さくら工房」とは？何処にあるの？どんな人達がいるの？何をしている所なの？と、さくら工房を知らない村民の皆さんに知って戴きたく投稿いたしました。

主な作業内容は工業用ミシンを使ったオリジナルの縫製品（枕カバー、シーツ、エプロン、作業帽、農作業用腕力バー、足力バー、足拭きマット等々）約三十種類ほどの作品がございます。

造り方、生地、デザイン共しつかりしていると、非常に評判良く、さくら工房まで買いに来てくれる方が多くなりました。道の駅関川村内の施設、各種イベントで販売しております。

また、今年四月よりさくら工房の厨房を一部改造し「焼き立てパン」の製造、販売を始めました。パンの焼き方は指導員が中心となり、通所メンバーは焼き上がったパンを、冷ましてから一個一個袋詰めをし、「商品名・価格シール」の貼る

作業を担当しております。

平日の毎日、お昼前十一時頃には、約三十種類の焼き立てパンが工房の販売コーナーに並びます。また現在役場をはじめ、村内五十箇所の職場や個人宅への出張販売をしております。

村民の皆さんで、まだ食べてない方は是非、さくら工房の焼き立てパンを賞味ください。

わたくしたちは、地域社会の福祉増進に寄与する事を目的とし、高齢者も障害者も共に生き、共に暮らせる社会を目指しています。趣旨に賛同できる方は、賛助会員を募集しております。

年会費一口二千元です。会員の方には毎年一回、焼き立てパンの会員謝恩サービスがございます。宜しくお願い致します。



広報対策特別委員会



近 良平 大沼久夫 津野庄衛
委員長 副委員長
伊藤理助 平田ゆかり 須貝謙一

編集後記

実りの秋です。一年中で最も豊かな季節を迎えました。今年は大変な作業だったと伺っております。関川村の甘みのあるおいしい新米を口にしながら、その幸せと農家の皆さんの大変さをかみしめているこの頃です。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。さて、「議会だより」第十七号をお届けいたします。

七月の臨時議会で委員の改選があり、新委員で初めて作成したものです。今回から「字を大きくしてほしい」との要望にお応えして、文字を二ポイント大きくいたしました。これからも先輩の意志を引き継ぎ「親しみやすい議会だより」を目指して研鑽を重ねてまいりますのでよろしくお願いたします。

平田(ゆ)